

いじめ防止授業の一例

1 教師からの弁護士の紹介（1分）

2 弁護士が自己紹介（2分）

3 「いじめられる側が（も）悪いか？」について（5分）

*生徒の意見を参考に弁護士が質問をして、深めていく。あなたは誰に対しても完璧な人間なのか。あなたもいじめられても仕方がないことになってしまわないか。

4 「絶対に」いじめが許されない理由について（10分）

*いじめ、いじめ自殺の実例の紹介（裁判例や報道等にあらわれる過去のいじめ事件やその他弁護士の経験）

*ただし、「死」に焦点を当てすぎない

*「生き地獄だ」と感じ人を追い詰めるのがいじめであることを理解させる

5 心の中のコップの水の話について（5分）

*「人間の心の中にはコップがあり、いやなことがあると水がたまる。」

*もし、相手のコップの水がいっぱいだったら、ほんの小さな悪口でも、コップの水があふれることもある。

*何気ないひとことが重大な結果を→いじめる側は意識していない場合も

6 いじめる側の心のキズについて（5分）

*「今は気づかないかもしれないが、いじめをすることで、いじめる側にも心に傷がつく。」大人になって気がつくこともある。良心の呵責で苦しんで欲しくない。あなたが大切。いじめをしないで。

7 ドラえもんの話（10分）

*「ドラえもん」の人間関係からお互いの立場を考えさせる

*いじめの4層構造（いじめる子、同調する子、いじめられる子、傍観者）を説明。

*空気を変える。

*しずかちゃん（傍観者）に何ができるか？

*先生に言うことの大切さ。「あなたは一人じゃない」というメッセージの大切さ。

8 まとめ「いじている人へ」「いじめられている人へ」「いじめを見ている人へ」

（7分）

*「それでは、もし、今後 いじている人・いじめられている人・いじめを見ている人が現れた時のアドバイスをしたいと思います。」

*自分の体験や想いを話す。